

**SIT × PIM × KMUTT グローバルPBL: Kaizenプロジェクト**

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2019年09月01日～ 2019年09月10日	タイ	キングモンクット工科大学 トンプリ校 パンヤピワット経営大学	・デザイン工学科 ・学部2年生	(芝浦工業大学) 学生4名、教員2名 (キングモンクット工科大学ト ンプリ校) 学生8名 (パンヤピワット経営大学) 学生12名、TA5名、教員8名、 職員8名	加藤 恭子(デザイン工学科)、 櫻木 新(デザイン工学科)



図1 参加者全員写真

本年度はタイ南部Ryong県にある日経の工場が舞台となりました。現地でKaizenに関する授業を受けた後、工場の現場の視察を行いました。今までとは異なり、日本企業の影響・指導を受けた工場内で、Kaizenポイントを見つけるのは非常に難しく、学生はみな苦心しました。加えて、今年は日本からの参加学生が少なかったため、マイノリティーとしてどう立ち回るか、発言権を得るか等、昨年までとは異なる困難とそれに立ち向かう努力が必要となりました。

しかしながら、今年度からの新たな取り組みとして参加している企業派遣の若手社会人のリーダーシップにより、夕食後に反省会を開くなどし、プロジェクトそのものの課題だけでなく、自分たちのプレゼンスをどう上げるかなどの課題についても積極的に話し合い、解決策を見出す姿は印象的でした。

例年に比べ挑戦する部分も多いプログラムとなりましたが、少人数であったため日本人参加者全員の絆は非常に深まった気がします。将来世界で活躍する若者にとって、課題そのものだけでなく、その課題にどう向き合うかというひとつひとつのプロセスについても、得るところの大きい10日間となりました。



図2 Group discussion 1

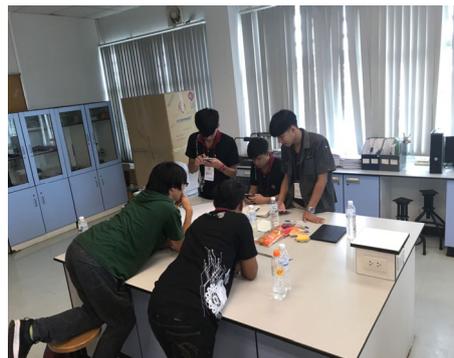


図3 Group discussion 2



図4 Final presentation